

鎌倉市：地域課題「就労等を通じた、シニア世代のセカンドライフ充実について」

アイデア名：宿坊を通してシニア世代の高齢者の雇用拡大 ～ KAMAKURA を世界基準の観光都市へ～

チーム名：minamoto

屋ヶ田友紀、坂井大介、東郷静、高橋萌、輿石茉莉、矢作修

アイデアの内容

私たちのやりたいことは寺院の宿泊という需要を掘り起こして シニア世代の雇用促進につなげることです。

観光客数の世界基準をご存知でしょうか。

国連世界観光機関(UNWTO)では観光地に24時間以上の滞在している事とされています。

昨年度の鎌倉市の観光客数は延べ2,293万人です。その多くが日帰り観光客であり宿泊観光客数は

その内34.4万人(1.54%)と非常に少ないです。宿泊するかしないかでは鎌倉市での消費額にも大きな差があると考えます。

平均で一人当たり観光消費額は【日帰り客】6,702円/人【宿泊客】20,229円/人と、その差は13,527円です。

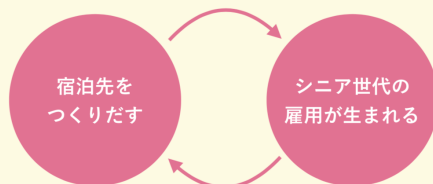
この事実を背景に、鎌倉市を宿坊を通して世界基準の観光都市にすることで更なる観光業の発展につながると考えています。

また、宿坊を行うことで生まれる新たな雇用の機会が発生し、鎌倉市に住むシニア世代を多く雇用することで市民であるからこそ話すことのできる鎌倉市の話や、観光名所の紹介といった観光客への新たな魅力の発信も可能ではないかと考えます。

〈最大のテーマ・宿坊と雇用促進〉

観光客は多い **約2300万人/年**

宿泊者が少ない **約34万人/年**



出典：鎌倉市の観光事情—平成28年度版—

・現在の鎌倉市のシニア世代の就労率

現在は「就労していない」が37.2%で高く、就労割合は全体で55.0%です。

・今後の就労希望

鎌倉市のシニア世代の就労についてのアンケート調査から

全体で「就労したい」が37.7%、「できれば就労したい」が21.7%で合計59.4%が就労希望です。

就労し続ける希望を持っていることから、就労の需要は大きいと考えます。

また、就労する場合に希望する場所は、

「鎌倉市内」が62.1%で最も高くなっている現状から、

鎌倉市内の寺院の宿坊での就労も十分可能だと思います。

実現の流れ

- ①クラウドファンディングによる資金調達
- ②鎌倉市の地域課題解決につながるシニア雇用促進事業
- ③宿坊を実施する寺院の確保、シニア世代の高齢者のためのスキルアップセミナー開催、NPO法人minamoの人員強化

【鎌倉市より】

応募チームとはミーティングを重ね、市の現状や課題等、行政の視点からアイデアの参考になるような情報を紹介し、サポートさせていただきました。

今回の提案は、市の課題解決に資する内容であり、また、本市の特徴である「観光」をテーマとしていることから、今後は官民連携で取り組んでいきたいです。